

## 結果の概要

### 1 国民医療費の状況

令和元年度の国民医療費は44兆3,895億円、前年度の43兆3,949億円に比べ9,946億円、2.3%の増加となっている。

人口一人当たりの国民医療費は35万1,800円、前年度の34万3,200円に比べ8,600円、2.5%の増加となっている。

国民医療費の国内総生産(GDP)に対する比率は7.93%(前年度7.79%)、国民所得(NI)に対する比率は11.06%(同10.79%)となっている。(図1、表1、統計表第1表)

図1 国民医療費、対国内総生産・対国民所得比率の年次推移

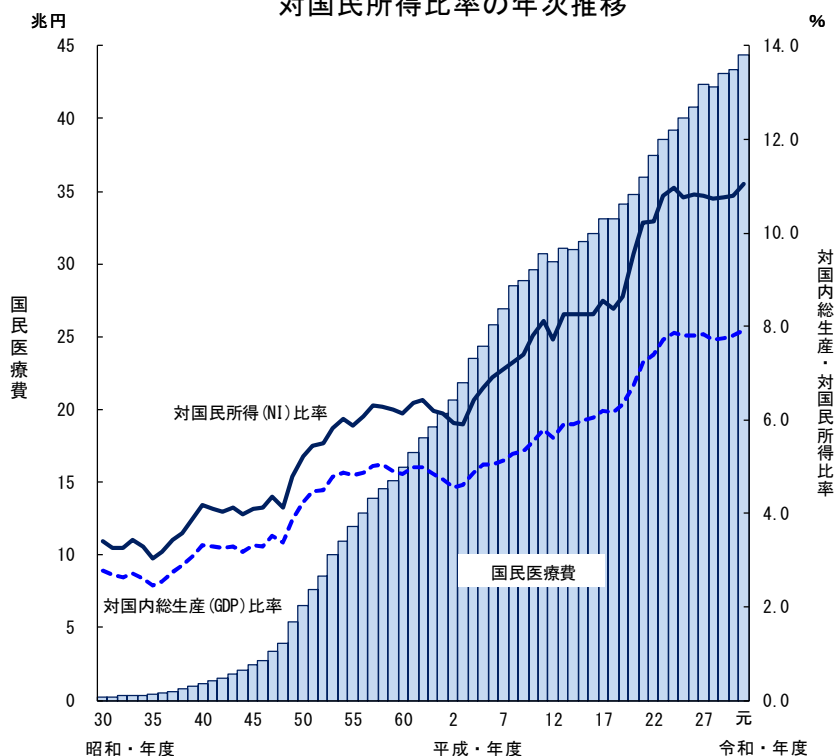


表1 国民医療費、対国内総生産・対国民所得比率の年次推移

年次	国民医療費		人口一人当たり 国民医療費 (千円)	国内総生産 (GDP)		国民所得 (NI)	国民医療費の比率	
	(億円)	対前年度 増減率 (%)		(億円)	対前年度 増減率 (%)		対前年度 増減率 (%)	国内総生産 に対する 比率 (%)
昭和29年度(1954)	2 152	...	2.4	...	...	...	...	...
30 ('55)	2 388	11.0	2.7	12.5	85 979	...	2.78	3.42
40 ('65)	11 224	19.5	11.4	17.5	337 653	11.1	3.32	4.18
50 ('75)	64 779	20.4	57.9	19.1	1 523 616	10.0	4.25	5.22
60 ('85)	160 159	6.1	132.3	5.4	3 303 968	7.2	4.85	6.15
61 ('86)	170 690	6.6	140.3	6.0	3 422 664	3.6	4.99	6.37
62 ('87)	180 759	5.9	147.8	5.3	3 622 967	5.9	4.99	6.43
63 ('88)	187 554	3.8	152.8	3.4	3 876 856	7.0	4.84	6.20
平成元年度 ('89)	197 290	5.2	160.1	4.8	4 158 852	7.3	4.74	6.15
2 ('90)	206 074	4.5	166.7	4.1	4 516 830	8.6	4.56	5.94
3 ('91)	218 260	5.9	176.0	5.6	4 736 076	4.9	4.61	5.92
4 ('92)	234 784	7.6	188.7	7.2	4 832 556	2.0	4.86	6.41
5 ('93)	243 631	3.8	195.3	3.5	4 826 076	△ 0.1	5.05	6.67
6 ('94)	257 908	5.9	206.3	5.6	5 119 546	6.1	5.04	6.91
7 ('95)	269 577	4.5	214.7	4.1	5 253 045	2.6	5.13	7.09
8 ('96)	284 542	5.6	226.1	5.3	5 386 584	2.5	5.28	7.22
9 ('97)	289 149	1.6	229.2	1.4	5 425 005	0.7	5.33	7.40
10 ('98)	295 823	2.3	233.9	2.1	5 345 673	△ 1.5	5.53	7.80
11 ('99)	307 019	3.8	242.3	3.6	5 302 975	△ 0.8	5.79	8.12
12 (2000)	301 418	△ 1.8	237.5	△ 2.0	5 376 162	1.4	5.61	7.73
13 ('01)	310 998	3.2	244.3	2.9	5 274 084	△ 1.9	5.90	8.27
14 ('02)	309 507	△ 0.5	242.9	△ 0.6	5 234 660	△ 0.7	5.91	8.27
15 ('03)	315 375	1.9	247.1	1.7	5 262 226	0.5	5.99	8.27
16 ('04)	321 111	1.8	251.5	1.8	5 296 336	0.6	6.06	8.26
17 ('05)	331 289	3.2	259.3	3.1	5 341 097	0.8	6.20	8.54
18 ('06)	331 276	△ 0.0	259.3	△ 0.0	5 372 610	0.6	6.17	8.39
19 ('07)	341 360	3.0	267.2	3.0	5 384 840	0.2	6.34	8.65
20 ('08)	348 084	2.0	272.6	2.0	5 161 740	△ 4.1	6.74	9.55
21 ('09)	360 067	3.4	282.4	3.6	4 973 668	△ 3.6	7.24	10.21
22 ('10)	374 202	3.9	292.2	3.5	5 048 721	1.5	7.41	10.26
23 ('11)	385 850	3.1	301.9	3.3	5 000 405	△ 1.0	7.72	10.79
24 ('12)	392 117	1.6	307.5	1.9	4 994 239	△ 0.1	7.85	10.95
25 ('13)	400 610	2.2	314.7	2.3	5 126 856	2.7	7.81	10.75
26 ('14)	408 071	1.9	321.1	2.0	5 234 183	2.1	7.80	10.83
27 ('15)	423 644	3.8	333.3	3.8	5 407 394	3.3	7.83	10.79
28 ('16)	421 381	△ 0.5	332.0	△ 0.4	5 448 272	0.8	7.73	10.74
29 ('17)	430 710	2.2	339.9	2.4	5 556 874	2.0	7.75	10.75
30 ('18)	433 949	0.8	343.2	1.0	5 568 279	0.2	7.79	10.79
令和元年度 ('19)	443 895	2.3	351.8	2.5	5 596 988	0.5	7.93	11.06

注:1) 平成12年4月から介護保険制度が開始されたことに伴い、従来国民医療費の対象となっていた費用のうち介護保険の費用に移行したものがあがるが、これらは平成12年度以降、国民医療費に含まれていない。

2) 国内総生産(GDP)及び国民所得(NI)は、内閣府「国民経済計算」による。

## 2 制度区分別国民医療費

制度区分別にみると、公費負担医療給付分は3兆2,301億円（構成割合7.3%）、医療保険等給付分は20兆457億円（同45.2%）、後期高齢者医療給付分は15兆6,596億円（同35.3%）、患者等負担分は5兆4,540億円（同12.3%）となっている。

対前年度増減率をみると、公費負担医療給付分は1.7%の増加、医療保険等給付分は1.6%の増加、後期高齢者医療給付分は4.0%の増加、患者等負担分は0.9%の増加となっている。（表2、統計表第2表、参考1）

表2 制度区分別国民医療費

制度区分	令和元年度（2019）		平成30年度（2018）		対前年度	
	国民医療費 （億円）	構成割合 （%）	国民医療費 （億円）	構成割合 （%）	増減額 （億円）	増減率 （%）
総数	443 895	100.0	433 949	100.0	9 946	2.3
公費負担医療給付分	32 301	7.3	31 751	7.3	550	1.7
医療保険等給付分	200 457	45.2	197 291	45.5	3 166	1.6
医療保険	197 263	44.4	194 066	44.7	3 197	1.6
被用者保険	106 624	24.0	103 110	23.8	3 514	3.4
被保険者	57 944	13.1	55 375	12.8	2 569	4.6
被扶養者	41 829	9.4	41 689	9.6	140	0.3
高齢者 <sup>1)</sup>	6 852	1.5	6 046	1.4	806	13.3
国民健康保険	90 639	20.4	90 957	21.0	△ 318	△ 0.3
高齢者以外	57 480	12.9	59 577	13.7	△ 2 097	△ 3.5
高齢者 <sup>1)</sup>	33 159	7.5	31 380	7.2	1 779	5.7
その他の <sup>2)</sup>	3 194	0.7	3 224	0.7	△ 30	△ 0.9
後期高齢者医療給付分	156 596	35.3	150 576	34.7	6 020	4.0
患者等負担分	54 540	12.3	54 047	12.5	493	0.9
軽減特例措置 <sup>3)</sup>	2	0.0	283	0.1	△ 281	△ 99.3

注：1) 被用者保険及び国民健康保険適用の高齢者は70歳以上である。

2) 労働者災害補償保険法、国家公務員災害補償法、地方公務員災害補償法、独立行政法人日本スポーツ振興センター法、防衛省の職員の給与等に関する法律、公害健康被害の補償等に関する法律及び健康被害救済制度による救済給付等の医療費である。

3) 平成20年4月から平成31年3月までの70～74歳の患者の窓口負担の軽減措置に関する国庫負担分である。

## 3 財源別国民医療費

財源別にみると、公費は16兆9,807億円（構成割合38.3%）、そのうち国庫は11兆2,963億円（同25.4%）、地方は5兆6,844億円（同12.8%）となっている。保険料は21兆9,426億円（同49.4%）、そのうち事業主は9兆4,594億円（同21.3%）、被保険者は12兆4,832億円（同28.1%）となっている。また、その他は5兆4,663億円（同12.3%）、そのうち患者負担は5兆1,837億円（同11.7%）となっている。（表3、統計表第3表、参考1）

表3 財源別国民医療費

財源	令和元年度（2019）		平成30年度（2018）		対前年度	
	国民医療費 （億円）	構成割合 （%）	国民医療費 （億円）	構成割合 （%）	増減額 （億円）	増減率 （%）
総数	443 895	100.0	433 949	100.0	9 946	2.3
公費	169 807	38.3	166 049	38.3	3 758	2.3
国庫 <sup>1)</sup>	112 963	25.4	110 400	25.4	2 563	2.3
地方	56 844	12.8	55 649	12.8	1 195	2.1
保険料	219 426	49.4	213 727	49.3	5 699	2.7
事業主	94 594	21.3	92 023	21.2	2 571	2.8
被保険者	124 832	28.1	121 705	28.0	3 127	2.6
その他の <sup>2)</sup>	54 663	12.3	54 173	12.5	490	0.9
患者負担（再掲）	51 837	11.7	51 267	11.8	570	1.1

注：1) 軽減特例措置は、国庫を含む。

2) 患者負担及び原因者負担（公害健康被害の補償等に関する法律及び健康被害救済制度による救済給付等）である。

#### 4 診療種類別国民医療費

診療種類別にみると、医科診療医療費は31兆9,583億円（構成割合72.0%）、そのうち入院医療費は16兆8,992億円（同38.1%）、入院外医療費は15兆591億円（同33.9%）となっている。また、歯科診療医療費は3兆150億円（同6.8%）、薬局調剤医療費は7兆8,411億円（同17.7%）、入院時食事・生活医療費は7,901億円（同1.8%）、訪問看護医療費は2,727億円（同0.6%）、療養費等は5,124億円（同1.2%）となっている。

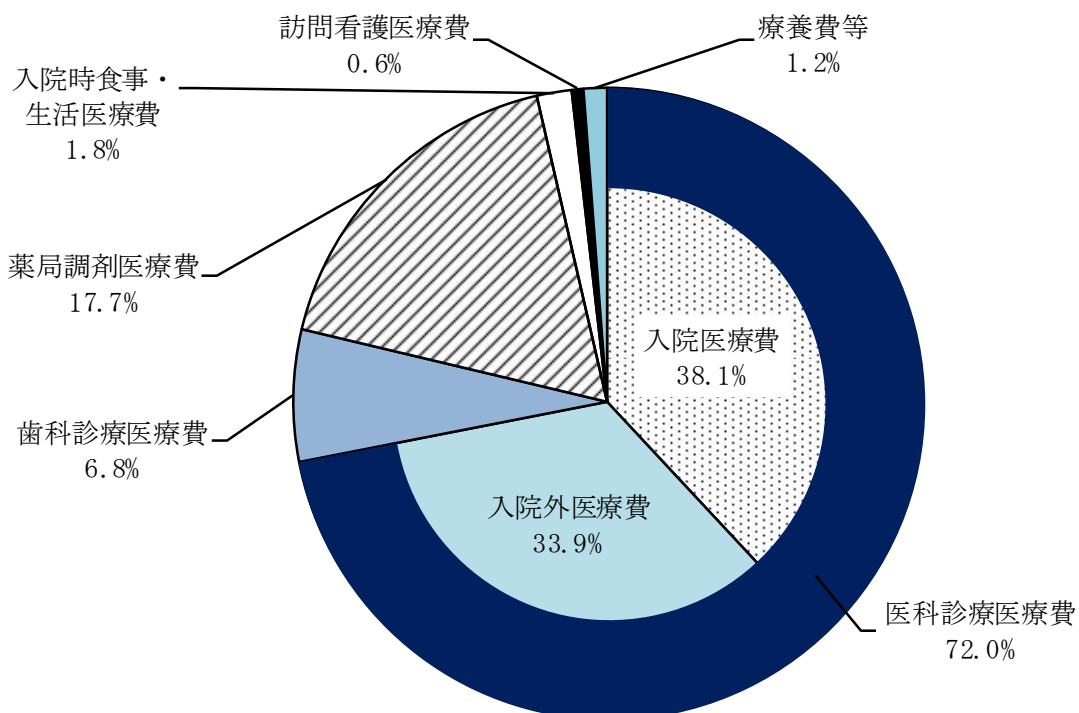
対前年度増減率をみると、医科診療医療費は2.0%の増加、歯科診療医療費は1.9%の増加、薬局調剤医療費は3.6%の増加となっている。（表4、図2、統計表第4表、参考1）

表4 診療種類別国民医療費

診療種類	令和元年度（2019）		平成30年度（2018）		対前年度	
	国民医療費（億円）	構成割合（%）	国民医療費（億円）	構成割合（%）	増減額（億円）	増減率（%）
総数	443,895	100.0	433,949	100.0	9,946	2.3
医科診療医療費	319,583	72.0	313,251	72.2	6,332	2.0
入院医療費	168,992	38.1	165,535	38.1	3,457	2.1
病院	165,209	37.2	161,705	37.3	3,504	2.2
一般診療所	3,783	0.9	3,831	0.9	△48	△1.3
入院外医療費	150,591	33.9	147,716	34.0	2,875	1.9
病院	65,027	14.6	62,730	14.5	2,297	3.7
一般診療所	85,564	19.3	84,986	19.6	578	0.7
歯科診療医療費	30,150	6.8	29,579	6.8	571	1.9
薬局調剤医療費	78,411	17.7	75,687	17.4	2,724	3.6
入院時食事・生活医療費	7,901	1.8	7,917	1.8	△16	△0.2
訪問看護医療費	2,727	0.6	2,355	0.5	372	15.8
療養費等	5,124	1.2	5,158	1.2	△34	△0.7

図2 診療種類別国民医療費構成割合

令和元年度（2019）



## 5 年齢階級別国民医療費

年齢階級別にみると、0～14歳は2兆4,987億円（構成割合5.6%）、15～44歳は5兆2,232億円（同11.8%）、45～64歳は9兆6,047億円（同21.6%）、65歳以上は27兆629億円（同61.0%）となっている。

人口一人当たり国民医療費をみると、65歳未満は19万1,900円、65歳以上は75万4,200円となっている。そのうち医科診療医療費では、65歳未満が12万9,800円、65歳以上が56万4,000円となっている。歯科診療医療費では、65歳未満が1万9,900円、65歳以上が3万3,900円となっている。薬局調剤医療費では、65歳未満が3万6,500円、65歳以上が12万6,800円となっている。（表5、統計表第5表、参考1）

表5 年齢階級別国民医療費

年齢階級	令和元年度（2019）			平成30年度（2018）			対前年度	
	国民医療費 （億円）	構成割合 （%）	人口一人当たり 国民医療費 （千円）	国民医療費 （億円）	構成割合 （%）	人口一人当たり 国民医療費 （千円）	人口一人当たり国民医療費	
							増減額 （千円）	増減率 （%）
	総 数							
総数	443 895	100.0	351.8	433 949	100.0	343.2	8.6	2.5
65歳未満	173 266	39.0	191.9	171 121	39.4	188.3	3.6	1.9
0～14歳	24 987	5.6	164.3	25 300	5.8	164.1	0.2	0.1
15～44歳	52 232	11.8	126.0	52 403	12.1	124.2	1.8	1.4
45～64歳	96 047	21.6	285.8	93 417	21.5	280.8	5.0	1.8
65歳以上	270 629	61.0	754.2	262 828	60.6	738.7	15.5	2.1
70歳以上(再掲)	226 953	51.1	835.1	216 708	49.9	826.8	8.3	1.0
75歳以上(再掲)	172 064	38.8	930.6	165 138	38.1	918.7	11.9	1.3
	医科診療医療費（再掲）							
総数	319 583	100.0	253.3	313 251	100.0	247.7	5.6	2.3
65歳未満	117 189	36.7	129.8	116 391	37.2	128.1	1.7	1.3
0～14歳	17 212	5.4	113.2	17 573	5.6	114.0	△ 0.8	△ 0.7
15～44歳	33 608	10.5	81.0	33 992	10.9	80.6	0.4	0.5
45～64歳	66 369	20.8	197.5	64 826	20.7	194.9	2.6	1.3
65歳以上	202 395	63.3	564.0	196 860	62.8	553.3	10.7	1.9
70歳以上(再掲)	170 537	53.4	627.5	163 136	52.1	622.4	5.1	0.8
75歳以上(再掲)	130 171	40.7	704.0	125 183	40.0	696.4	7.6	1.1
	歯科診療医療費（再掲）							
総数	30 150	100.0	23.9	29 579	100.0	23.4	0.5	2.1
65歳未満	17 971	59.6	19.9	17 693	59.8	19.5	0.4	2.1
0～14歳	2 540	8.4	16.7	2 493	8.4	16.2	0.5	3.1
15～44歳	6 966	23.1	16.8	6 977	23.6	16.5	0.3	1.8
45～64歳	8 465	28.1	25.2	8 223	27.8	24.7	0.5	2.0
65歳以上	12 179	40.4	33.9	11 887	40.2	33.4	0.5	1.5
70歳以上(再掲)	9 449	31.3	34.8	8 994	30.4	34.3	0.5	1.5
75歳以上(再掲)	6 413	21.3	34.7	6 113	20.7	34.0	0.7	2.1
	薬局調剤医療費（再掲）							
総数	78 411	100.0	62.1	75 687	100.0	59.9	2.2	3.7
65歳未満	32 925	42.0	36.5	31 861	42.1	35.1	1.4	4.0
0～14歳	4 662	5.9	30.6	4 684	6.2	30.4	0.2	0.7
15～44歳	10 154	12.9	24.5	9 920	13.1	23.5	1.0	4.3
45～64歳	18 110	23.1	53.9	17 256	22.8	51.9	2.0	3.9
65歳以上	45 485	58.0	126.8	43 826	57.9	123.2	3.6	2.9
70歳以上(再掲)	37 831	48.2	139.2	35 872	47.4	136.9	2.3	1.7
75歳以上(再掲)	28 110	35.8	152.0	26 786	35.4	149.0	3.0	2.0

また、年齢階級別国民医療費を性別にみると、0～14歳の男は1兆3,748億円（構成割合6.4%）、女は1兆1,238億円（同4.9%）、15～44歳の男は2兆3,620億円（同11.0%）、女は2兆8,612億円（同12.5%）、45～64歳の男は5兆831億円（同23.6%）、女は4兆5,216億円（同19.8%）、65歳以上の男は12兆7,271億円（同59.1%）、女は14兆3,358億円（同62.8%）となっている。

人口一人当たり国民医療費をみると、65歳未満の男は19万2,500円、女は19万1,300円、65歳以上の男は81万5,800円、女は70万6,700円となっている。（表6、統計表第5表）

表6 年齢階級、性別国民医療費

令和元年度（2019）

年 齢 階 級	男			女		
	国民医療費 (億円)	構成割合 (%)	人口一人当たり 国民医療費 (千円)	国民医療費 (億円)	構成割合 (%)	人口一人当たり 国民医療費 (千円)
	総 数					
総 数	215 471	100.0	350.9	228 424	100.0	352.7
65 歳 未 満	88 199	40.9	192.5	85 067	37.2	191.3
0 ～ 14 歳	13 748	6.4	176.5	11 238	4.9	151.5
15 ～ 44 歳	23 620	11.0	111.5	28 612	12.5	141.1
45 ～ 64 歳	50 831	23.6	302.0	45 216	19.8	269.6
65 歳 以 上	127 271	59.1	815.8	143 358	62.8	706.7
70歳以上(再掲)	103 208	47.9	906.7	123 745	54.2	783.5
75歳以上(再掲)	73 848	34.3	1 013.3	98 215	43.0	876.8
	内科診療医療費(再掲)					
総 数	157 258	100.0	256.1	162 325	100.0	250.7
65 歳 未 満	60 539	38.5	132.1	56 650	34.9	127.4
0 ～ 14 歳	9 493	6.0	121.9	7 719	4.8	104.0
15 ～ 44 歳	15 044	9.6	71.0	18 564	11.4	91.5
45 ～ 64 歳	36 002	22.9	213.9	30 367	18.7	181.1
65 歳 以 上	96 719	61.5	620.0	105 676	65.1	521.0
70歳以上(再掲)	78 678	50.0	691.2	91 859	56.6	581.6
75歳以上(再掲)	56 533	35.9	775.7	73 638	45.4	657.4
	歯科診療医療費(再掲)					
総 数	13 675	100.0	22.3	16 475	100.0	25.4
65 歳 未 満	8 380	61.3	18.3	9 591	58.2	21.6
0 ～ 14 歳	1 303	9.5	16.7	1 236	7.5	16.7
15 ～ 44 歳	3 143	23.0	14.8	3 823	23.2	18.9
45 ～ 64 歳	3 933	28.8	23.4	4 531	27.5	27.0
65 歳 以 上	5 295	38.7	33.9	6 884	41.8	33.9
70歳以上(再掲)	4 022	29.4	35.3	5 427	32.9	34.4
75歳以上(再掲)	2 634	19.3	36.1	3 780	22.9	33.7
	薬局調剤医療費(再掲)					
総 数	37 069	100.0	60.4	41 342	100.0	63.8
65 歳 未 満	16 594	44.8	36.2	16 332	39.5	36.7
0 ～ 14 歳	2 633	7.1	33.8	2 029	4.9	27.3
15 ～ 44 歳	4 737	12.8	22.4	5 417	13.1	26.7
45 ～ 64 歳	9 223	24.9	54.8	8 886	21.5	53.0
65 歳 以 上	20 475	55.2	131.3	25 010	60.5	123.3
70歳以上(再掲)	16 523	44.6	145.2	21 308	51.5	134.9
75歳以上(再掲)	11 656	31.4	159.9	16 454	39.8	146.9

## 6 傷病分類別医科診療医療費

医科診療医療費を主傷病による傷病分類別にみると、「循環器系の疾患」6兆1,369億円（構成割合19.2%）が最も多く、次いで「新生物<腫瘍>」4兆7,459億円（同14.9%）、「筋骨格系及び結合組織の疾患」2兆5,839億円（同8.1%）、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」2兆4,897億円（同7.8%）、「腎尿路生殖器系の疾患」2兆3,043億円（同7.2%）となっている。

年齢階級別にみると、65歳未満では「新生物<腫瘍>」1兆6,099億円（同13.7%）が最も多く、65歳以上では「循環器系の疾患」4兆8,828億円（同24.1%）が最も多くなっている。

また、性別にみると、男では「循環器系の疾患」（同20.7%）、「新生物<腫瘍>」（同16.3%）、「腎尿路生殖器系の疾患」（同8.2%）が多く、女では「循環器系の疾患」（同17.8%）、「新生物<腫瘍>」（同13.4%）、「筋骨格系及び結合組織の疾患」（同10.3%）が多くなっている。（表7、図3、統計表第6表）

表7 年齢階級、傷病分類別医科診療医療費（上位5位）

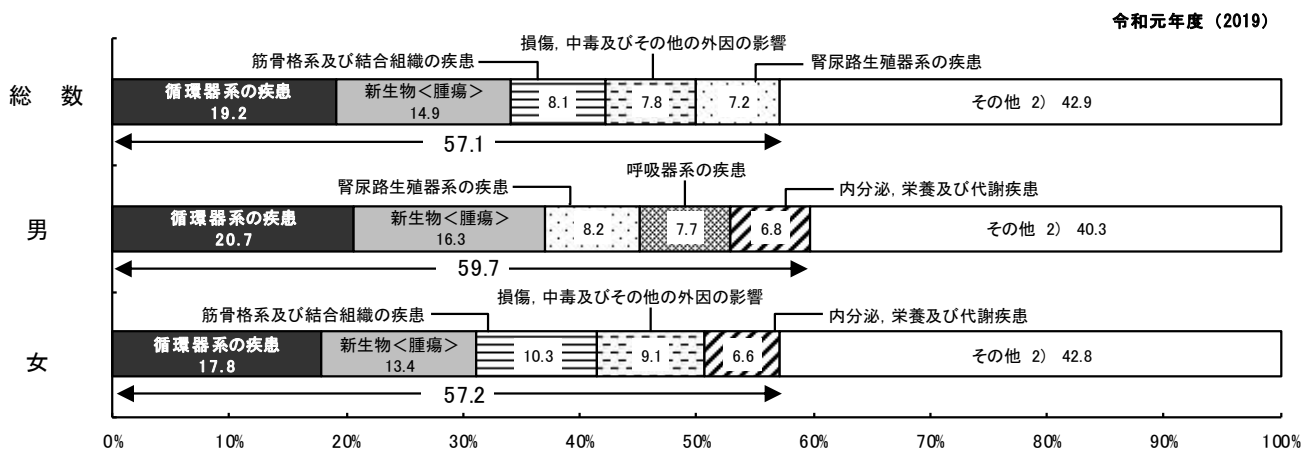
傷病分類 <sup>1)</sup>	令和元年度（2019）			平成30年度（2018）			対前年度	
	順位 <sup>3)</sup>	医科診療医療費（億円）	構成割合（%）	順位 <sup>3)</sup>	医科診療医療費（億円）	構成割合（%）	増減額（億円）	増減率（%）
総数		319 583	100.0		313 251	100.0	6 332	2.0
循環器系の疾患	1	61 369	19.2	1	60 596	19.3	773	1.3
新生物<腫瘍>	2	47 459	14.9	2	45 256	14.4	2 203	4.9
筋骨格系及び結合組織の疾患	3	25 839	8.1	3	25 184	8.0	655	2.6
損傷、中毒及びその他の外因の影響	4	24 897	7.8	4	24 421	7.8	476	1.9
腎尿路生殖器系の疾患	5	23 043	7.2	6	22 336	7.1	707	3.2
その他 <sup>2)</sup>		136 976	42.9		135 458	43.2	1 518	1.1
65歳未満								
総数		117 189	100.0		116 391	100.0	798	0.7
新生物<腫瘍>	1	16 099	13.7	1	15 536	13.3	563	3.6
循環器系の疾患	2	12 540	10.7	2	12 473	10.7	67	0.5
呼吸器系の疾患	3	11 474	9.8	3	11 828	10.2	△ 354	△ 3.0
精神及び行動の障害	4	10 261	8.8	4	10 352	8.9	△ 91	△ 0.9
腎尿路生殖器系の疾患	5	8 212	7.0	6	8 119	7.0	93	1.1
その他 <sup>2)</sup>		58 603	50.0		58 083	49.9	520	0.9
65歳以上								
総数		202 395	100.0		196 860	100.0	5 535	2.8
循環器系の疾患	1	48 828	24.1	1	48 123	24.4	705	1.5
新生物<腫瘍>	2	31 360	15.5	2	29 720	15.1	1 640	5.5
筋骨格系及び結合組織の疾患	3	17 938	8.9	3	17 383	8.8	555	3.2
損傷、中毒及びその他の外因の影響	4	16 769	8.3	4	16 194	8.2	575	3.6
腎尿路生殖器系の疾患	5	14 831	7.3	5	14 217	7.2	614	4.3
その他 <sup>2)</sup>		72 669	35.9		71 223	36.2	1 446	2.0

注：1) 傷病分類は、ICD-10（2013年版）に準拠した分類による。

2) 令和元年度の上位5傷病以外の傷病である。

3) 「順位」は、各年度の順位である。

図3 性別にみた傷病分類別医科診療医療費構成割合（上位5位）



注：1) 傷病分類は、ICD-10（2013年版）に準拠した分類による。

2) 上位5傷病以外の傷病である。

## 7 都道府県別国民医療費

都道府県（患者住所地）別にみると、東京都が4兆4,571億円と最も高く、次いで大阪府が3兆3,956億円、神奈川県が2兆8,889億円となっている。また、鳥取県が2,050億円と最も低く、次いで島根県が2,677億円、福井県が2,733億円となっている。

人口一人当たり国民医療費をみると、高知県が46万3,700円と最も高く、次いで長崎県が43万3,600円、鹿児島県が43万3,400円となっている。また、千葉県が30万8,500円と最も低く、次いで埼玉県が31万900円、神奈川県が31万4,100円となっている。（図4、統計表第7表）

図4 都道府県別にみた国民医療費・人口一人当たり国民医療費

令和元年度（2019）

